

# 来春のお披露目まであと少し!改修工事にひきつづき パイプオルガン オーバーホール 継続中。

## コンサートホール改修工事とオルガン オーバーホール

2011年から2012年の夏にかけて行われた東京芸術劇場の改修工事。その一環としてコンサートホールのパイプオルガンもオーバーホールという大きなメンテナンスに入りました。夏までの改修工事で、ホール全体としては舞台の張替えや内装の変更、客席の総入れ替えなどを行いました。オルガンはホールと一体となっている楽器です。たとえば音の響きの調整はホールの音響

条件が非常に影響するので、その環境に合わせて行われます。このように改修後のホールでないことも多く、劇場リニューアルオープン後も公演の間を縫って作業が続けられています。2013年3月31日のお披露目記念コンサートに向けて、オーバーホールは着々と進められています。

## 公演の間を縫って続けられるメンテナンス

東京芸術劇場コンサートホールのシンボルでもある国内最大規模のパイプオルガンは、ホールの近代的な内装にあわせデザインされたモダン側と、17~18世紀の音楽に相応しいヨーロッパ伝統を踏襲したデザインのバロック側の2面からなり、世界でも稀に見る180度回転することでよく知られています。リ

ニューアルオープンの9月までにモダン側の手鍵盤や回転盤のメンテナンス・調整を終え、9月からは足鍵盤とバロック側の全てのパイプの清掃・メンテナンスに入りました。開館から20年の汚れと改修工事によるほこりをすべて取り除き、重力により歪んだパイプを綺麗に補整していきます。一度パイプを切断しハンダで繋ぎ合わせたり、木の型を使ったりと状態によって補整の方法は様々。中でも低音を担当する足鍵盤のパイプは大きい物で12mにもなり、改修工事中は作業の難しい場所のひとつでした。改修後の作業時間は夜22時から朝8時。作業人数は2名から4名のオルガ

# September 9月



ンビルダーと呼ばれる技術者によって行われていますが、取り外すだけでも大変な作業になる大きなパイプの補整は、公演が入っていない日に時間をかけて行いました。

# October 10月

## いよいよ大詰め、ついに始まった整音・調律

一通りの清掃・保守が終わると、整音・調律作業が始まります。整音とは、音色そのものを作る作業。調律は、整音が終わった後に音程を調整する作業です。実際の音色はオルガンから距離のある客席で聴きませんが、調整する時はパイプから鳴る音を耳元で聴かなければなりません。また、照明があたる外側のパイプはあつという間に温められ、内側のパイプと差ができ調律が狂ってしまいます。11月は空調がなくても温度が適度に保たれる貴重な季節のため、この時期に整音や調律を進めていきます。外観だけでなく、響きのバランスも変わったリニューアル後のホールで行われる音作りはまさに熟練の腕と耳が必要な非常に難しい

## 10メートル以上ある大きなオルガン。 バルコニーに作業用足場が組み込まれました。

10月にはオルガンが備え付けられているバルコニーに足場が設営され、高所作業も増えてきました。一方、客席から見えるオルガン正面は、パイプが歯抜け状態。劇場リニューアルオープン後は目隠しのため音響反射板を下げた公演を行いました。しかし、公演によっては音響の効果を活かすために、どうしても反射板を上げたいという

場合もあります。オーバーホールに取り組むスタッフも公演で演奏するアーティストも、より良い音をお客様に届けたいという目的はどちらも同じです。両方で事前に綿密な打ち合わせをし、作業工程なども調整してきました。



# November 11月

作業なのです。最後に最も大切なのがバランス調整です。部分ごとに分けて全てのパイプを解体し補整をしたため、新しくなった風の通り道がしっかりと伝わるまで、細かな調整が必要となります。ほんの少しの間ができるだけで、風が漏れパイプに伝わり余計な音が鳴ってしまう空鳴りという現象が発生してしまいます。乾燥の激しい冬は特に木が縮むため、より起こりやすいのです。新しく入れ替わった空調システムの癖やホール環境と相談しながら作業を進めます。そして演奏者と鍵盤のタッチやメカニクスの反応を確認し、ようやくオルガンとして皆様の前にお披露目する事ができるのです。このオーバーホールはオルガンにとって、まさに

新たな幕開けとなる節目でもあります。オルガンビルダー、ホールオルガニスト、そして劇場スタッフが丸となって、より良い音色をお客様にお届けできるよう準備を進めています。荘厳な音色が鳴り響くまであと少し。どうぞ皆様ご期待ください!



「風箱」のパーツ、風の通り道のほこりを一つ一つ丁寧に吹き飛ばし、皮を貼りかえます。  
「風箱」。細かな作業が必要な部品は山中湖のオルガン工房に運び出されメンテナンスが行われました。

東京芸術劇場パイプオルガンコンサートVol.15 **オルガン復活!お披露目記念コンサート**  
'13年3月31日[日] 14:00開演(13:00ロビー開場) コンサートホール



**復活祭をテーマに~芸劇のオルガン全ての様式を使用したプログラム**

オルガン:小林英之/新山恵理/平井靖子

【曲目】H.シャイデマン/「ハレルヤ、われらの神を賛美せよ」  
J.S.バッハ/「幻想曲とフーガ短調 BWV542」  
J.F.ダンドリユール/「復活祭のための奉獻唱「おお子らよ」」  
Ch.-M.ヴァイデル/「オルガン交響曲 第5番 Op.42-1より 第1、2、5楽章 ほか」

チケット料金【全席指定】S席:2,000円/A席:1,500円

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance **勅使川原三郎**×パイプオルガン公演 '13年2月上旬発売開始  
'13年4月12日[金] 19:00開演(18:00ロビー開場) コンサートホール

**オルガンとのコラボレーション公演**  
「無限大∞パイプオルガンの宇宙-バツハから現代を超えて」

バツハから現代、そして時間を越えた彼方へ。パイプオルガンの無限大の音宇宙と共振する、国際的に活躍する勅使川原三郎のダンスの新次元!

ダンス:勅使川原三郎/佐東利穂子/ほかKARASダンサー

オルガン:鈴木優人

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



大好評のランチタイムコンサートが遂に復活 **お待ちせしました!!**

東京芸術劇場 **ランチタイム・パイプオルガンコンサート**

各日12:15開演(11:45開場12:45終演予定) コンサートホール

'13年4月18日[木] Vol.97 坂戸真美  
'13年5月9日[木] Vol.98 マリア・マダレナ・カチョル  
'13年6月6日[木] Vol.99 梅干野安未

【全席自由】入場無料 主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

富士電機スーパーコンサート **エサ=ペッカ・サロネン指揮 フィルハーモニア管弦楽団&諏訪内晶子**

'13年2月10日[日] 14:00開演(13:00ロビー開場) コンサートホール

## サロネンとフィルハーモニアの名顔合わせに諏訪内晶子が参戦!

1990年芸劇オープニングの記念公演として行われた、故・シノーポリとのマーラー交響曲連続演奏会以来定期的に客演を続けるフィルハーモニア管弦楽団が再び20世紀作品のスペシャリスト・サロネンと共に来演。

いま、旬を迎えたコンビの“18番”ともいえるストラヴィンスキー「春の祭典」をメインとしたプログラムの来日公演。ゲスト出演としてヴァイオリンに諏訪内晶子を迎えます。



エサ=ペッカ・サロネン

諏訪内晶子

**指揮:エサ=ペッカ・サロネン**  
**ヴァイオリン:諏訪内晶子**  
**管弦楽:フィルハーモニア管弦楽団**

【曲目】シベリウス／交響詩「ボホヨラの娘」、ヴァイオリン協奏曲 ストラヴィンスキー／バレエ音楽「春の祭典」

| チケット料金 | 【全席指定】SS席:22,000円/S席:19,000円/A席:15,000円/B席:11,000円/C席:7,000円/D席:4,000円

東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

5都市共同制作 東京芸術劇場シアターオペラvol.6 **ビゼー 歌劇「カルメン」全幕** Alkor版 全4幕/字幕付原語&一部日本語上演 字幕付

'13年2月17日[日] 14:00開演(13:00ロビー開場) コンサートホール

## 芸劇の定番シリーズとなったシアターオペラでよみがえる。

前号でも紹介の本作。ビゼーの不朽の名作「カルメン」を、スペインの植民地だった19世紀のフィリピン・マニラに置き換え、井上道義(指揮)と茂山あきら(演出)でよみがえらせます。タイトルロールを務めるのはイタリアから来日するジュゼッピーナ・ピウンティ。当り役のカルメンを新演出でどのように見せてくれるのか期待が高まります。



ジュゼッピーナ・ピウンティ



ロザリオ・ラ・スピナ



ダニエル・スメギ



小川里美

**出演:**カルメン(ジプシーの女、レジスタンス):ジュゼッピーナ・ピウンティ/  
 ドン・ホセ(混血の伍長):ロザリオ・ラ・スピナ/  
 エスカミーリョ(脚牛):ダニエル・スメギ/  
 ミカエラ(現地の娘):小川里美/スニガ(現地の将校):ジョン・ハオ/  
 モラレス(現地の伍長):三塚 至/フラスキータ(レジスタンスの女):鷲尾麻衣/  
 メルセデス(レジスタンスの女):島本弥生/ダンカイロ(レジスタンス):晴雅彦/  
 レメンタード(レジスタンス):ジョン・健・スツツオ

**指揮:井上道義** 演出:茂山あきら 振付:中村恩恵(コンテンポラリーダンス)  
**管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢** コーラス:武蔵野音楽大学  
**児童合唱:世田谷ジュニア合唱団**

【曲目】ビゼー／歌劇「カルメン」全幕

| チケット料金 | 【全席指定】S席:13,000円/A席:9,000円/B席:7,000円/C席:5,000円/D席:3,000円/E席:1,500円

主催:石川県立音楽堂、オーケストラ・アンサンブル金沢(財団法人石川県音楽文化振興事業団)/ハーモニーホールふくい(財団法人福井県文化振興事業団)/新川文化ホール(公益財団法人福山県文化振興財団)/東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/名取市文化会館(財団法人名取市文化振興財団)/仙台フィルハーモニー管弦楽団

東京芸術劇場&読売日本交響楽団 **0才から聴こう!!春休みふれあいコンサート**

'13年3月27日[水] 14:00開演(13:00ロビー開場) コンサートホール

## 春休みは東京芸術劇場で読売日本交響楽団を聴こう!!

春休みの1日、子どもと大人が一緒になって楽しめる、オーケストラの魅力満載のプログラムです。0才から入場可能。出産後コンサートに足を運ぶ機会がなくなってしまったお母さんへのプレゼント。未就学の子どもたちにとっては、クラシック音楽やオーケストラとの素敵な出会いの場に。曲目も親しみやすく幅広くご用意。世代を超えて楽しめる人気企画です!

**指揮:梅田俊明** **ナビゲーター:中井美穂**  
**ソプラノ:森 美代子** **管弦楽:読売日本交響楽団**



梅田俊明



中井美穂



森 美代子

オーケストラの華麗なマーチとソプラノの歌声によって巡る名曲世界旅行

<p><b>第1部</b></p> <p>【オープニング】 ヨハン・シュトラウス2世/喜歌劇「ジプシー男爵」より『入場行進曲』</p> <p>【音楽の都・ウィーン】 モーツァルト/歌劇「魔笛」より 夜の女王のARIA『復讐の炎は地獄のように』</p> <p>【パリのにぎわい】 オッフェンバック/歌劇「ホフマン物語」より『オランピアのARIA』</p> <p>【ロシア音楽の魅力】 チャイコフスキー/組曲「くるみ割り人形」より『行進曲』『こんべい糖の踊り』『トレパック(ロシアの踊り)』</p>	<p><b>第2部</b></p> <p>【イタリア・オペラとミュージカルの世界へ】 ロッシーニ/歌劇「ウィリアム・テル」序曲より『スイス軍の行進』</p> <p>ブッチーニ/歌劇「ジャンニ・スキッキ」より『私のお父さん』</p> <p>バーンスタイン/「キャンディード」序曲「キャンディード」より クネコンデのARIA『Glitter and Be Gay(きらびやかに華やかに)』</p> <p>【フィナーレは星空に想いを馳せて…】 ホルスト/組曲「惑星」より『木星(ジュピター)』 ほか</p>
---	--

| チケット料金 | 【全席指定】S席:3,500円/A席:2,500円/子ども(3才以上小学生まで):1,000円(S席・A席共通)

※0才から入場できます。ただし2才児までで保護者の膝上の場合無料(保護者1名につき子供1名まで)。座席を必要とする場合は、全て有料となります。

東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場&ミュゼザ川崎シンフォニーホール共同企画 **第2回音楽大学フェスティバル・オーケストラ**

'13年3月30日[土] 15:00開演(14:00ロビー開場) コンサートホール



## 音大選りすぐりの若き精鋭たちによる 一期一会の競演

8つの音楽大学の協力と交流を目的に始まった「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」。特別編として、各大学の選抜メンバーで構成されるのが「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」です。日本を代表する名匠、秋山和慶と若き音楽家たちの情熱溢れる演奏がホールに鳴り響きます。将来のスター・プレイヤーたちの演奏をお見逃しなく!

**指揮:秋山和慶**  
**管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ**  
 (首都圏8音楽大学選抜オーケストラ)



秋山和慶

【曲目】R.シュトラウス／祝典前奏曲  
 レスピーギ／交響詩「ローマの松」 マーラー／交響曲第5番 嬰ハ短調

| チケット料金 | 【全席指定】S席:2,000円/A席:1,500円

主催:音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会/東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/ミュゼザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)